

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名			予算科目	会計	款	項	目	担当班	施設班
37900 中学校大規模改造事業			一般	一般	10	3	1	事業種別	施設班
11 学校教育の充実			根拠法令	学校教育法、中学校設置基準、中学校施設整備指針				事業種別	施設班
22 学校施設の充実			戦略事業	120 学校大規模改修事業				事業種別	施設班
戦略事業			戦略事業					事業種別	施設班

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		経年により、発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や改装等の大規模改修及び被災時における防災機能強化の事業を実施することで、教育環境の改善を図り、併せて建物の耐久性の確保を図る。 施設整備計画により、市内中学校施設について、順次、大規模改修工事を行っており、H28～H29年度は旭市立第一中学校の大規模改修工事を実施した。また、市内中学校屋内運動場等において、防災機能強化事業を行い、非構造部材の耐震化改修工事を実施する。大規模改修事業のほかに、H27年度に旭市立飯岡中学校校舎改築工事が完了した。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
学校施設の耐震化率100%を目指し、平成18年度に施設整備計画を策定し、耐震補強工事、改築工事と併行して大規模改修工事を実施している。 また、平成24年度より、防災機能強化事業として、非構造部材の耐震化工事を実施している。		・国の交付金採択の優先基準が変わってきており、「防災機能強化事業」が最優先とされているが、年々採択が厳しい状況となってきた。	学校関係者から、老朽化が進んでいるため改修の要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.委託料	4,536	武道場(一中、二中、海上中)実施設計
2.工事請負費	40,430	武道場(一中、二中、海上中)工事前金払
3.手数料		
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債	24,400	学校教育施設等整備事業債
4.その他		

事業費		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
費目内訳	1.委託料	千円	5,903	8,677	972	4,536	
	2.工事請負費	千円	138,552	475,914	61,344	40,430	
	3.手数料	千円		12			
財源	事業費計(A)	千円	144,455	484,603	62,316	44,966	
	1.国庫支出金	千円	44,565	95,063	16,643		
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円	70,700	262,600	28,500	24,400	
	4.その他	千円		16,432			
	5.一般財源	千円	29,190	110,508	17,173	20,566	

前年度増減理由	武道場3校分と前年度より校数は増となったが繰越となり前払い金の支出のみとなったため
---------	---

従事職員数	常時 3 人	最大 人	× 日	= 延べ 人
-------	--------	------	-----	--------

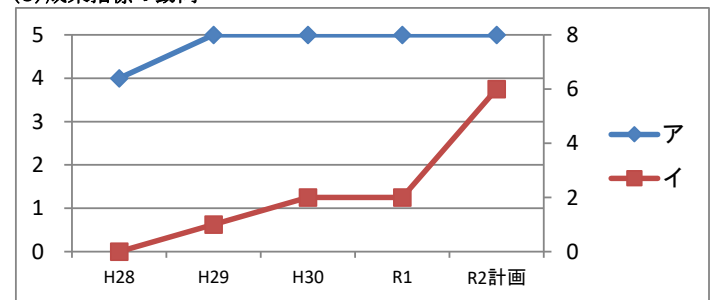
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)							
手段	第一中学校武道場防災機能強化工事(実施設計・工事)	ア 中学校改修工事棟数	棟	0	2	1	0	0
	第二中学校武道場防災機能強化工事(実施設計・工事)							
目的	海上中学校武道場防災機能強化工事(実施設計・工事)	イ						
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
目的	対象 ①中学校生徒 ②中学校校舎 意図 老朽化した校舎が改修されることにより、安全、安心で快適な学習環境が提供される。	ア 老朽改修済中学校数(全5校中)	校	4	5	5	5	5
	対象 ①中学校生徒 ②中学校屋内運動場等 意図 屋内運動場等の防災機能が強化されることにより、安全、安心で快適な学習環境が提供される。	イ 屋内運動場等防災機能強化工事完了棟数(全6棟中)	棟	0	1	2	2	6

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果					
		成果向上余地			コスト比率				
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3		
施策貢献度	大きい			④	評価結果	①			
	普通					②			
	小さい					③			
				④⑤		(4)			
				⑥					
				⑦⑧					
				⑨					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較
成果指標イ	成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	成果動向
【コメント】(低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
～R2.6.30	第一中学校武道場防災機能強化工事(繰越明許)	拡大	現状維持	見直し	
～R2.6.30	第二中学校武道場防災機能強化工事(繰越明許)	縮小	廃止・休止	その他()	
～R2.5.29	海上中学校武道場防災機能強化工事(繰越明許)				
～R3.3.31	干潟中学校技術教室棟防災機能強化工事(繰越明許)				